【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成22年9月9日(2010.9.9)

【公開番号】特開2009-17214(P2009-17214A)
【公開日】平成21年1月22日(2009.1.22)
【年通号数】公開・登録公報2009-003
【出願番号】特願2007-176464(P2007-176464)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　5/217　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/243　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/335　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　5/217
Ｈ０４Ｎ　5/243
Ｈ０４Ｎ　5/335　Ｐ

【手続補正書】
【提出日】平成22年7月23日(2010.7.23)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ＸＹアドレス方式の撮像素子により得られた画像信号からフリッカ成分を検出するフリッカ検出装置であって、
１画面分の前記画像信号を水平方向及び垂直方向に分割することにより、各々が少なくとも１画素の画像信号を含む複数のフリッカ検出枠を設定する設定手段と、
前記画像信号に垂直方向の輝度レベルの変動として生じるフリッカ成分を、前記垂直方向の複数のフリッカ検出枠ごとに検出するフリッカ検出手段とを有することを特徴とするフリッカ検出装置。
【請求項２】
前記フリッカ検出手段が検出したフリッカ成分の信頼性を、予め定めたフリッカモデルとの比較に基づいて判定する評価手段をさらに有することを特徴とする請求項１記載のフリッカ検出装置。
【請求項３】
前記フリッカ検出枠ごとに、特定のフリッカ成分の周波数、振幅及び位相に関する特性を表す特性パラメータを抽出する特性パラメータ抽出手段と、
前記特性パラメータに基づいて前記フリッカモデルを生成するモデル生成手段とをさらに有し、
前記評価手段が、前記モデル生成手段が生成した前記フリッカモデルを用いて前記評価を行うことを特徴とする請求項２記載のフリッカ検出装置。
【請求項４】
前記評価手段によって信頼性が低いと判定されたフリッカ成分に代わるフリッカ成分を、前記評価手段によって信頼性が高いと判定された他のフリッカ成分を補間して生成する補間手段をさらに有することを特徴とする請求項２又は請求項３に記載のフリッカ検出装置。
【請求項５】

ＸＹアドレス方式の撮像素子により得られた画像信号からフリッカ成分を検出するフリッカ検出方法であって、

設定手段が、１画面分の前記画像信号を水平方向及び垂直方向に分割することにより、各々が少なくとも１画素の画像信号を含む複数のフリッカ検出枠を設定する設定工程と、

検出手段が、前記画像信号に垂直方向の輝度レベルの変動として生じるフリッカ成分を、前記垂直方向の複数のフリッカ検出枠ごとに検出するフリッカ検出工程とを有することを特徴とするフリッカ検出方法。